

## 校長室から感じたままに No 5

昔から「継続は力なり」という言葉が使われます。これは、まさに毎日続けることが、少しずつ自分の力になっていくということです。

子供たちは宿題の中で音読をしているかと思います。この「音読は非常に良い！」と言われていています。それはなぜでしょうか。

1. 字を見る (目を使う)
2. 声に出して読む (口を使う)
3. 読んだものを聞く (耳を使う)
4. 内容を考える (頭・脳を使う)

と1度にたくさんの場所を働かせることができるからなのだそうです。

担任の先生から、音読を続けると子供たちが教科書の文を暗唱できるようになると聞きます。また、繰り返し読むうちに内容を理解し、感情をこめて読めるようになるとも言われています。これは素晴らしいことですね。

他教科でも覚えたいものがある時には、音読に書く、ということを加えると、目・口・耳・頭・そして手も働かせることができるので効果的だといわれています。ぜひ試してみてください。

私が5年生の担任をしている頃、リレーの選手にどうしてもなりたいたいという男子がいました。彼とは、朝の運動(マラソン)を自分のペースで毎日続けてみたらどうか、そして徐々にスピードを上げて言ったらどうか、と話し合いました。彼は自分を信じて1年間、黙々と努力を続け、リレーの選手になりました。

今でも「継続は力なり」という言葉を聞くと、その子のひたむきにチャレンジする姿を思い出します。

子供たちには、どんなことでもいいので、自分で目標を決めて続けることにチャレンジしてほしいと思います。必ず力になるはずです。